

乳歯・幼若永久歯の外傷治療を的確に行うために役立つ最新実践書！

これで安心！

乳歯・幼若永久歯の外傷への対応

保存か抜歯かを見極め、良好な長期予後を獲得する治療・術後管理のポイント

監修 新谷誠康 (東京歯科大学小児歯科学講座 主任教授)

著 辻野啓一郎 (東京歯科大学小児歯科学講座 講師)
荒井 亮 (東京都・荒井歯科室)

- 転倒や衝突などで外傷を受けた子どもは突然来院します。そのような時にも慌てず、乳歯と幼若永久歯それぞれの特徴や違いを理解し、的確な診断と迅速な初期対応をすることが求められます。
- 本書では、患児が来院した時の初期対応の基本から受傷様式別の対処法、患児・保護者への対応、術後管理中に合併症が生じた時の対応のポイントなど、乳歯・幼若永久歯の外傷治療を適切に行い、良好な予後を得るために必要な最新の知識と技術を丁寧に解説しています。

A4変判・178頁・オールカラー・定価15,400円（税込）



株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町531-5 OKADOビル
Tel.03-6709-6771 Fax.03-6709-6774
<https://www.hyoron.co.jp>

これで安心！ 乳歯・幼若永久歯の 外傷への対応

——保存か抜歯かを見極め、良好な長期予後を獲得する治療・術後管理のポイント

内 容 紹 介

第Ⅰ章 乳歯・幼若永久歯の特徴と外傷に 対する考え方

- I 小児の外傷への対応は難しい
- II 乳歯・幼若永久歯では同じ受傷状態でも考え方が異なる
- III 外傷時に考慮する乳歯の特徴
- IV 晩期残存乳歯の交換で考えなければいけないこと
- V 外傷時に考慮する幼若永久歯の特徴

第Ⅱ章 外傷発生時の対応と注意点

- I 外傷発生の連絡を受けたら（保護者・養護教諭への指示）
- II 診療室に到着してからの診査
- III 破折歯・脱落歯の保存法
- IV 患児・保護者への説明

第Ⅲ章 乳歯・幼若永久歯の外傷に対する対応

- I 乳歯・幼若永久歯の病態（受傷様式）別の対応・治療方針
- II 歯冠破折部の修復法
- III 歯内療法を選択
- IV 歯根破折歯の経過
- V 外傷歯の固定

第Ⅳ章 外傷歯の術後管理と合併症

- I 外傷歯の治療目標
- II 外傷歯の経過観察中に起きる合併症
Column 外傷歯の根管治療
- III 乳歯外傷による後継永久歯への影響
- IV 術後管理のポイント

第Ⅴ章 症例から学ぶ外傷歯への対応

- CASE 1 乳歯の陥入・側方脱臼症例—元の位置まで再萌出した症例
- CASE 2 乳歯の陥入症例—経過観察中に外部吸収を起こした症例
- CASE 3 乳歯の歯冠・歯根破折症例—抜髄後、永久歯交換まで観察した症例
- CASE 4 乳歯の完全脱臼症例
- CASE 5 乳歯の歯根破折症例—乳歯歯根が残存したまま生理的歯根吸収が起きて後継永久歯への交換を迎えた症例
- CASE 6 永久歯露髄を伴わないエナメル質・象牙質破折の症例
- CASE 7 部分的生生活歯髓切断法を行った症例
- CASE 8 歯冠・歯根破折の保存症例 ①—外科的挺出、再植を行った症例
- CASE 9 歯冠・歯根破折の保存症例 ②—矯正的挺出を行った症例
- CASE 10 破折歯の接着にファイバーコアを利用した症例
- CASE 11 永久歯の陥入症例
- CASE 12 永久歯の挺出症例 ①
- CASE 13 永久歯の挺出症例 ②
- CASE 14 永久歯の多数歯にわたる破折症例

第Ⅵ章 これで安心！外傷歯の疑問に答える Q&A, Tips

- Q 1 外傷歯の固定除去はどのようにすればよいのでしょうか？
- Q 2 応急処置はどこまですればよいのでしょうか？
- Q 3 幼若永久歯と成熟永久歯はどのように判断すればよいのでしょうか？
- Tips 1 変色した歯冠破折歯の漂白
- Tips 2 外傷後の歯の変色
- Tips 3 乳臼歯の外傷
- Tips 4 外傷後の超長期経過
- Tips 5 治療計画書の記載例